

【記入例】

通知書番号

徴収猶予申請書

那覇市長様

地方税法第15条第1項 号(第5号の場合、第 号類似)の規定により、以下のとおり徴収の猶予を申請します。

申請者	住所所在地	〒△△△-△△△△ 〇〇市△△町×-×-× (代表者住所: 〇〇市□□町×-×-×)				申請年月日	令和 〇〇 年 6 月 15 日		
	氏名称	那覇株式会社 代表取締役 那覇 一郎				電話番号	〇〇〇 (△△△△) ××××		
						携帯番号	〇〇〇 (△△△△) ××××		
納付すべき市税	年度	税目	通知書番号	納期限	本税	督促料	延滞金	合計	備考
	別添「未納明細書」のとおり								
納付すべき市税のうち、納税の猶予を受けようとする金額					2,980,000	200	要	2,980,200	
猶予該当事実の詳細	例①: 令和〇年〇月〇日、大雨の影響で店舗が床上浸水となった。そのため、店舗の復旧までの間、営業を行うことができなかった。								
	(新型コロナウイルス感染症の場合)								
一時に納付することができない事情の詳細	例②: 新型コロナウイルス感染症の影響により、〇月〇日頃から予約のキャンセルが相次ぎ売上が大幅に減少し納税資金を捻出するのが困難である。								
	例①: 店舗の床上浸水のため、復旧して営業を再開するまでに10日間を要した。そのため、その間の売上利益に相当する50万円が、猶予該当事実があったことによる損失となっている。								
納付計画	年月日	納付金額	年月日	納付金額	年月日	納付金額			
	令和〇〇.6.30	200,000円	令和〇〇.10.31	500,000円	令和△△.2.28	50,000円			
	令和〇〇.7.31	330,000円	令和〇〇.11.30	60,000円	令和△△.3.31	110,200円+延滞金			
	令和〇〇.8.31	500,000円	令和〇〇.12.31	550,000円	令和	円			
	令和〇〇.9.30	650,000円	令和△△.1.31	30,000円	令和	円			
猶予期間	令和 〇〇 年 6 月 20 日から 令和 △△ 年 3 月 31 日まで 10 月間								
担保	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	担保財産の詳細又は提供できない特別の事情							
税理士署名押印	(電話番号 - -)				添付する書類欄				
<input type="checkbox"/>	税理士法第30条の書面提出有				<input checked="" type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類 <input checked="" type="checkbox"/> 収支の明細書 <input checked="" type="checkbox"/> 財産目録 <input type="checkbox"/> 担保関係書類				

【記入例】

通知書番号

徴収猶予申請書

那覇市長様

地方税法第15条第1項 号(第5号の場合、第 号類似)の規定により、以下のとおり徴収の猶予を申請します。

申請者	住所所在地	〒△△△-△△△△ 〇〇市△△町×-×-×				申請年月日	令和〇〇年4月20日			
	氏名称	那覇 一郎				電話番号	〇〇〇(△△△△)××××			
						携帯番号	〇〇〇(△△△△)××××			
納付すべき市税	年度	税目	通知書番号	納期限	本税	督促料	延滞金	合計	備考	
	別添「未納明細書」のとおり									
納付すべき市税のうち、納税の猶予を受けようとする金額					1,000,000	200	要	1,000,200		
猶予該当事実の詳細	令和xx年9月に交通事故に遭い、同年から令和〇〇年2月まで〇〇病院に入院し、その後も通院している。									
一時に納付することができない事情の詳細	〇〇病院に治療費及び入院費として162万円を支払い、xx生命保険から保険金32万円を受領しているため、差引金額である130万円が、猶予該当事実があったことによる支出となっている。									
納付計画	年月日	納付金額	年月日	納付金額	年月日	納付金額				
	令和〇〇.4.30	90,000円	令和〇〇.8.31	90,000円	令和〇〇.12.31	114,700円+延滞金				
	令和〇〇.5.31	5,500円	令和〇〇.9.30	90,000円	令和	円				
	令和〇〇.6.30	390,000円	令和〇〇.10.31	90,000円	令和	円				
	令和〇〇.7.31	40,000円	令和〇〇.11.30	90,000円	令和	円				
猶予期間	令和〇〇年4月30日から令和〇〇年12月31日まで 9月間									
担保	<input type="checkbox"/> 有	担保財産の詳細又は								
	<input checked="" type="checkbox"/> 無	提供できない特別の事情								
税理士署名押印	(電話番号 - -)				添付する書類欄					
<input type="checkbox"/>	税理士法第30条の書面提出有				<input checked="" type="checkbox"/>	猶予該当事実証明書類	<input checked="" type="checkbox"/>	収支の明細書	<input checked="" type="checkbox"/>	財産目録
					<input type="checkbox"/>	担保関係書類				